attachment A

Tic-FX 培地組成

NIHS 0606.1

JCRB1331.01 Seed , Distribution

ESF-FX

500 mL		メーカー	型番	ストック溶液濃度	液量	使用時 最終濃度
mESF		wako	136-17805		500 ml	
3factor (×	ķ 1)			×100	5 ml	(*6)
Oleic acid -rHSA (>	k2)			×100	5 ml	
Insulin soluition Human		SIGMA	I9278-5ML	×1000	0.5 ml	
Apo-transferrin human (>	k3)			1 mg/ml	2.5 ml	5 μg/ml
アスコルビン酸リン酸 (*	k4)			50 mg/ml	1 ml	$100~\mu\text{g/ml}$

* 使用期限は調製後1週間だが、できるだけ作り置きをしない。 特に、継代時は新しく調製した培地を使用するのが望ましい。

ストック溶液(Stock Solution)

(*2) 50 mL

(*1)	3factor(×100)						
40 mL		メーカ	_	型番	濃度	液量	(*6) 使用時最終 濃度
	DPBS	GIBC	О	14190		40 ml	
	2-mercaptoethanol (1M)	(*1-1)			1 mM	40 µl	10 μM
	2-ethanolamine (1M)	(*1-2)			1 mM	40 µl	10 μM
	Sodium selenite (1 mg/10 ml)	(*1-3)			$2 \mu M$	138.5 μl	20 nM
						40.2185 ml	

* 0.22μmフィルター濾過して使用

** 遮光して4℃で保存

(*1-1) 2-mercaptoethanol (1M)		メーカー	型番		液量	
2-mercaptoethanol (14.3 M)		SIGMA	M7522		1.4 ml	
DW		GIBCO	15230		18.6 ml	
		*	医薬用外毒物	のため取扱い注	意	
(*1-2) 2-ethanolamine (1M)		メーカー	型番		液量	
2-ethanolamine (16.6 M)		SIGMA	E0135		1.2 ml	
DW		GIBCO	15230		18.8 ml	
(*1-3) Sodium selenite (1 mg/10 ml) Sodium selenite		メーカー SIGMA	型番 S9133	必要量 1 mg	液量	
DW		GIBCO	15230		10 ml	
		* 医薬用外毒物のため取扱い注意				
Oleic acid -rHSA (×100)						
		メーカー	型番	必要量	液量	
Human Albumin : rHSA		SIGMA	A7736	5 g		
DPBS		GIBCO	14190		50 ml	
Oleic acid (200 mg/ml)	(*2-1)			235 µl		

- 1)rHSAをDPBSに加え、溶解するまで2-3時間程度4℃冷蔵庫に入れる。時折揺すって様子を確認する。
- 2)完全に溶解したのを確認し、Oleic acidを加える。 3)蓋をしっかり閉め、パラフィルムでシールをしてアルミホイルで遮光する。
- 4)ローテーターに固定し、4℃冷蔵庫内で一晩回転させる。
- 5)0.22 μmフィルターで濾過滅菌する。
- 6)アルミホイルで遮光をし、4℃で保存。

*1か月ほどで使い切れる分量を調製する。

(*2-1) Oleic acid (200 mg/ml)	一カー	型番	必要量	液量
Oleic acid Si	IGMA	O1383-1G		1 ml
EtOH	VAKO (057-00456		4 ml

*小分け分注をして-20℃で保存し、使用時に解凍する。

(*3)	Apo-transferrin human (1 mg/ml)				
100 mL		メーカー	型番	必要量	液量
·	Apo-transferrin human	SIGMA	T2252-100MG	100 mg	
	DPBS	GIBCO	14190		100 ml

* 0.22 µmフィルター濾過して使用

** 4℃で保存(長期間の場合は-20℃で保存)

(* 4)	アスコルビン酸リン酸(50 mg/ml)				
30 mL		メーカー	型番	必要量	液量
,	L-アスコルビン酸リン酸エステルマグネシウム塩	WAKO	013-19641	1.5 g	
	DW	GIBCO	15230		30 ml

* $0.22~\mu m$ フィルター濾過して使用 ** 4° Cで保存(長期間の場合は- 20° Cで保存) (小分け分注して- 20° Cで保管しておき、培地調製時に必要量を解凍して使用している)